

学校通信

陽光



令和4年度 2月号
多可町立八千代中学校
令和5年2月1日(水)発行



<https://www.town.taka.lg.jp/yachiyo-jr-hi/>
電話 37-0049 文責：校長 神崎

「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。 やがて大きな花が咲く」

学校長 神崎進吾



令和5年も早いヶ月が過ぎました。先月の大寒波による大雪も記憶に新しいところですが、引き続き寒い日が続きます。また、新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザも流行しています。健康管理には十分注意し、おさまるのを願うばかりです。今年は、2月3日が節分、翌4日が立春となります。寒くて厳しい冬の出口はなかなか見えませんが、明るく暖かい春の訪れを信じて毎日を過ごしていきたいと思います。

さて、3年生はこれからいよいよ進路決定に向けた試験等が本格的に始まります。2月には私立高等学校の入試があります。その後に公立高校の推薦入試や特色選抜入試等も予定されています。今から3月に入ってから公立一般入学者選抜を経て、卒業証書授与式後の公立高校の合格発表まで約1ヶ月半にわたり、3年生にとっては緊張の日々が続くことになります。受験生にとって一番の頑張り時であると同時に、精神的にも一番辛い時期でもあります。

私は辛く苦しい時に、いつも心の中に浮かんでくる言葉があります。それは「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」という言葉です。これは、2000年のシドニーオリンピックで日本女子陸上競技史上初めて金メダルをとった高橋尚子さんが、高校の時の陸上部の監督から送られた言葉です。

高橋さんは一生懸命練習に打ち込み、思うような結果が出ないときもひたすら走りこんだことで有名です。その練習量はマラソン選手の中でも抜群の多さだったそうです。シドニーオリンピックは真夏に行われ、私もテレビで実況を見ていました。暑い中、マラソンはつらく苦しい競技だと思います。それにもかかわらず高橋さんはレース前に「今までにどれだけ走ってきたことか、あとたった42km」と心の中でつぶやいたそうです。そう言えるだけの練習量をこなしてきたということでしょう。そしてレース後には「すごく楽しい42kmでした!」と明るい爽やかな笑顔で答えていました。そして、それだけで終わらずにその翌年のマラソンで2時間19分46秒という当時の世界新記録を打ち立てたのです。

高橋さんは高校の時は、全国都道府県対抗女子駅伝の県代表にぎりぎり選ばれたのがやっとの選手で、全国大会の本番では9人に抜かれ、区間順位は全国で下から3番目の45位でした。それでも厳しい練習を続け、大学時代は学生トップクラスの選手に成長し、社会人になってもマラソンランナーとして活躍します。しかし、全てが順調だったわけではありません。オリンピックに出る選手を決める大事なレースを前に左腕を骨折したり、腹痛を起こすなどのアクシデントが続いたのです。それでもあきらめずに最終選考会の名古屋国際女子マラソンに出場し、意地を見せて優勝し、

オリンピック出場の夢をとうとう叶えました。そして、日本女子マラソン初の金メダルを獲得したのです。

たくさんの挫折を味わい、それでも努力を続けてきた高橋選手の座右の銘が、先に述べた「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」です。

高橋さんのマラソン人生を見てわかるように、最初から花が咲くことも、花をずっと咲かせ続けることも難しいことです。太陽の光を浴び水を吸って、しっかり根を張り成長してこそ大きな美しい花を咲かせることができます。自分なりに努力してもどうしても上手くいかないときは、あきらめたりしがちですが、苦しいときにふんばるからこそ、根が伸びます。根をの伸ばすことをやめなければ、やがて大きな花を咲かせることにつながっていきます。

自分の夢や目標を達成するには、強い意志をもって努力を重ねていくことが大切ですが、誰にでも、何をやってもうまく行かないような厳しい時期もあるものです。そんなときは、まだ花が咲く時期ではないのだと、気持ちを切り替えることが大切です。そして、達成するために必要な力をつけることに専念することです。地道に努力していれば、やがてその努力が報われて、見事地上に大きな花を咲かす、つまりは夢を叶えることができるでしょう。成果はすぐには目に見えないかもしれないけれど、あきらめずに努力を積み重ねることが大切なことだと思います。

こんな時期だからこそ、目の前のやるべきことに対して、一生懸命に集中して取り組む。そんな人であってほしい。そして、自分にとっての大輪の花を咲かせてほしいと願っています。冬来たりなば、春遠からじ。春はもうそこまで来ています。頑張れ 八中生！

1月の教育活動

<新生徒会役員任命>

新生徒会役員決定！！ ～私たちがしっかりと伝統を受け継ぎ、発展させていきます～

【本 部】

会 長	
副 会 長	

【専門部】

文 化 部	
放 送 部	
体 育 部	
衛 生 部	
美 化 部	
生活安全部	



1月16日（月）生徒朝会の後、新生徒会役員の任命式を行いました。これまで先輩が築いてきたこの八千代中学校の生徒会活動の伝統を、いよいよ2年生が受け継ぐ時期がきました。

役員バッジの引継ぎを終えた後、3年生の旧生徒会役員から一言ずつ話があり、「たくさんのことを学んだ。うまくいかないこともあったが、横のつながりを大切にして乗り越えることができた」「大変なことも多いけど、楽しむことも忘れずに頑張っている」「やり残したことが少しある。後を引き継

いで、さらにより良い学校づくりを進めてほしい」等といったこの1年間、本気で取り組んだからこそ出てくる充実した感想が聞かれました。

校長からは、「任命される生徒会役員は、大いに『リーダーシップ』を発揮してみんなにその目指すべき方向性を示し、ぐいぐいと引っ張ってほしい。もちろん、生徒会活動は一部の生徒会役員だけでやるものではなく、学校の生徒みんなで創っていくもの。より良い学校を創っていくためには、リーダー以外の生徒の『メンバーシップ』が大切。これはリーダーが掲げる目標に理解を示し、それぞれが組織の一員として力を発揮すること。『全校一心』の校訓の下、リーダーである生徒会役員と全生徒が同じ方向を向き、心をつにして取り組もう。みんなでこれまでの伝統を引き継ぎ、みんなが誇れる最高の八千代中学校をこれからも創っていこう」との話がありました。

今月の専門部会からは、3年生から2年生にバトンタッチし2年生が運営にあたります。八千代中の活発な生徒会活動の伝統を、みんなでしっかりと引き継いでいきましょう！

<3学期スタート～始業式&課題・実力テスト～>

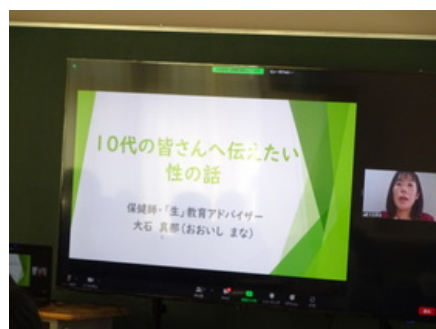
1月10日(火)、17日間の冬休みが終わり、3学期がスタートしました。始業式では、学校長から「新年にあたり、夢との実現のために目標を持って計画的に取り組むこと」「目標は小刻みに」「新型コロナ対策の確認」等についての話、また、教育実習の先生の紹介がありました。その後、1・2年生は、課題テスト、3年生は実力テストに臨みました。課題の提出もきっちりとできている生徒が多いです。冬休みの学習の成果を確かめる絶好の機会です。しっかりと自分の学力の課題を確認し、復習に臨むことが大切です。



<3年生、思春期講座>

1月12日(木)、3年生が5・6校時に、保健師であり「生」教育アドバイザーのOさんのお話をオンラインで聴きました。

「性」の話はなんとなく気恥ずかしいこともあって、普段あまり話をしないことが多いかもしれません。しかし、これからお付き合いする人が出てきたり、いつの日かパートナーと一緒に暮らすようになったり、結婚したりしていくことでしょう。そんな中で、自分自身を大切にすること、それと同じように相手も大切にすることが何より大切です。そのためには、この「性」について、知ること、考えることは必要不可欠です。今回は具体的な内容まで踏み込んだ話をしていただきました。生徒たちは、最初、気恥ずかしい様子もありましたが、真剣に話を聴いていました。様々な情報があふれる中、正しい情報に基づき、自分や相手の心と体を大切にしていくにはどうすれば良いのかを考える良いきっかけとなりました。Oさん、貴重なお話をありがとうございました。



<防災訓練・防災学習>

1月17日(火)、防災訓練・防災学習を実施しました。避難の際、校舎西側階段を通行できないように設定しましたが、生徒たちは臨機応変に対応しているようでした。非常ベルも鳴らしましたが、落ち着いて行動していました。防災学習では、はじめに震災・学校支援チーム(EARTH)隊員である本校のM養護教諭から講話がありました。講話では、ルミナリエが実施された経緯やその思い、震災の様子、災害では日頃からの備えが重要であることなどが伝えられました。次に防災教育担当のF教諭から、クイズ形式で防災についての学習をしました。3問出題されましたが、中には全問正解した生徒もいました。



< 1・2年生百人一首大会 >

1月18日(水)、19日(木)と、第1学年と第2学年で、百人一首大会が行われました。班対抗で競っており、会場では、札を叩く「バシ」という音と同時に、「あったー」、「おっしゃー」、「あっ、ちがう～」というような声が響いていました。「このたびは 幣も とりあへず 手向山 紅葉の錦 神のまにまに」と「ちはやぶる 神代もきかず 竜田川 からくれなゐに 水くくるとは」の二首が、生徒たちには人気のようでした。最後の坊主めくりでは、「蟬丸」が出たときにとても盛り上がっているようでした。終始和やかな雰囲気でした。



< 1年生、心の健康教育～STOP! イライラ大作戦～ >

1月19日(木)と23日(月)、1年生が「心の健康教育」でSTOP! イライラ大作戦と題して、アンガーマネジメントの学習を行いました。人間関係に行き違いやトラブルはつきものです。怒りの感情を抱くことはごく自然なことです。表現の仕方次第で自分や他者を不幸にしてしまうこともあります。自分の感情に上手に付き合い、怒りを感じたときの対処方法を学ぶことで、円滑でよりよい人間関係を築くことができます。授業では、自分自身の怒りのパターンについてワークシートを使って確認した後、S:深呼吸(10秒呼吸法)、T:その場から立ち去る、O:落ち着きグッズ、P:漸進的筋弛緩法といった4つの怒りをコントロールするための対処方法を学びました。今日の学びを、是非、日常生活に活かし、より良い人間関係を築いていきたいですね。



< 教育実習生、授業(英語科) >

1月24日(火)、1校時と6校時に、2年生の学級で教育実習生のT先生が英語の授業を行いました。この日は、現在完了形についての授業でした。簡潔にまとめられたスライドを使い、副詞がどこに入るか等、文法のポイントをきっちりと押さえ、大きな声でテンポ良く授業を進めていました。これからさらに研修を積み、授業力アップに臨んでください。期待しています。



< 2年生、薬物乱用防止教室 >

1月27日(金)、6校時に2年生が薬物乱用防止教室の授業を受けました。講師は、学校薬剤師であるささゆり薬局のS先生です。前半は、最初に薬の種類について、次に正しい服用方法のポイントについて教えてもらいました。時間・量・回数は、その薬が最も効果があるように設定されており、そのとおりにきちんと服用することで主作用が最大限に発揮されるのだそうです。そして、きちんと守らないと思わぬ副作用の恐れがあります。また、後半は、オーバードーズ(薬の過剰接種)や薬物の恐ろしさについて学びました。ゲートウェイドラッグ(入門薬物)といわれる飲酒、喫煙、違法ドラッグが未成年の体に及ぼす悪影響や依存症は、本当に怖いものです。最後は、ゲートウェイドラッグに誘われた際の断り方について教えてもらいました。自分の体を自分で守る。そのための有意義な学びの時間となりました。



校内の1コマ

<新刊図書が届いています！>



現在、生徒玄関前の掲示板で、図書室の新刊図書を紹介しています。登校時や特別教室への移動の際に、足を止めてみている生徒も大勢います。スマホやタブレットの普及に伴い、本を手にする機会が減っていると言われます。本は“心の栄養”。中学生の頃の読書習慣は、一生の宝物になります。動画やSNS等の視聴の少し減らして、本を手にとってみましょう。多可町でも、毎月、23日を含む週を「読書ウィーク」として、読書活動を推進しています。一冊でも多く、素敵な本と出会えるといいですね。図書館アドバイザーの中川先生に少しでも図書館が使いやすいようにと、きれいに本を整理していただいています。一度、きれいになった図書室に足を運んではいかがでしょうか。

<寒い冬の温活習慣～保健室掲示板より～>



連日のように朝夕、厳しい冷え込みが続いています。特に、早朝は氷点下となっており、指先がかじかむ中、みんな頑張って自転車をこいで元気に登校しています。さて、今回、紹介するのは、更新された保健室掲示板です。今回は「寒い冬の温活習慣」の特集です。「温めて血流UP!!」「温かい食事をよくかんで」「寒いときほど体を動かそう」をテーマに掲示されています。いつも工夫を凝らした掲示ですが、「温めて血流UP!!」の掲示物は、ペンライトで筒を照らせば解答が映し出されるというしかけがなされており、通りすがりの生徒も思わず手を伸ばして挑戦していました。この寒い冬、温活の知恵と工夫で、乗り切りましょう。

おれ

<PTA、資源ゴミ回収>

1月21日(土)、午前8時より旧小学校3校区に分かれてPTAの資源ゴミ回収を実施しました。朝から粉雪の舞う寒い天気でしたが、中学生はボランティアとしてよく頑張ってくれました。年々生徒数も減少しており、一気に古紙、段ボール、新聞紙、雑誌、布類等などが集中して集まるため、その間中学生は大忙しになります。新聞紙の回収場所では、運び込まれた新聞紙を整理して置いていく仕事をかってでてくれた生徒がいて、本当に助かりました。こうした場面で、自分から仕事を見つけて積極的に働くとする姿勢はとても爽やかですね。とても嬉しかったです。短い時間でしたが、一生懸命に働き清々しい気持ちで作業を終えました。中学生の皆さん、地域の皆様、保護者の皆様、早朝よりご協力ありがとうございました。



「陽光冬休み号 返信欄」から

いつも多くのご意見やご感想をいただきありがとうございます。皆様のご意見やご感想の交流の場とし、また、今後の指導にいかしていきたいと思っておりますので、是非、ご返信お願いいたします。また、たくさん返信をいただいておりますが、最近、「掲載不可」とされている方が多く、少しさみしい想いをしています。可能であれば、「掲載可」もしくは「どちらでも」にさせていただけるとありがたいです・・・。

- ・この一年、元気に過ごせたことに感謝しています。学校もとても楽しいようで、充実した毎日を過ごしています。新しい年も変わらず元気に過ごせますように。
- ・校長先生の「高校受験は学習量＝努力でカバーできる内容だ」という言葉にすごく納得しました。今は1年生だけど、あっという間に受験がくると思うので、今から出来ることをしっかりとやってほしいと思います。
- ・家が中学校から近いので、グラウンドの声がよく聞こえてきます。2学期、印象に残っている声は、体育祭に向けての練習の際、3年生がマイクで上手に下級生を指導してくれていた声です。素晴らしかったですよ。

キ リ ト リ 線

《第12号(2月) 返信欄》

年 組 番 氏名()の父親・母親・祖父・祖母・兄・姉 (掲載可 どちらでも 掲載不可)